

「松阪地域在宅医療・介護連携拠点」

が松阪地区医師会館に開設されてから

1年が経ちました。

進展する超高齢社会のなか、松阪地域の在宅医療・介護に関わる専門職の方々の連携が円滑にすすむよう、様々な取り組みが行われています。

初年度の1年を振り返り、また今後についての目標などお話を伺いました。



(左)松阪地域在宅医療・介護連携拠点 看護師 横山 優さん
(中)松阪地域在宅医療・介護連携拠点 社会福祉士 潮田 元美さん
(右)三重県介護支援専門員協会松阪支部 支部長 青木 浩乃さん

この1年の取り組みについて教えてください。

潮田さん

在宅医療・介護の連携をスムーズに行えるよう専門職への情報提供や調整という役割を担っています。そのためにもまずは、普段異なる場所で活動している、医師、看護師、介護支援専門員等専門職の情報収集を行う

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点

対応時間:月～金 午前9時半～午後4時
(祝日、年末年始を除く)

所在地:松阪地区医師会館1階
(松阪市白粉町363番地)

職員:看護師1名、社会福祉士1名、事務員1名
実施主体:松阪市、多気町、明和町、大台町



今後の目標を教えてください。

潮田さん

改めて、市内や多気郡の各地域包括

してきました。知っているか知らないかでは患者様へのサービス提供に大きな差が生じてきます。
松阪地域はエリアも広大なので、全ての専門職への聞き取りはまだ完了できていません。ですが、必要な場面適切に情報を活用できるように、引き続き調整役として社会資源を整理していきたいと思っています。
横山さん
拠点開設前には、松阪市内の3病院へ研修に回らせてもらいとても勉強になりました。最近では専門職の方と直接交流できる機会が増えました。在宅医療に携わる医師のお話を伺ったり、実際に他の専門職の方々と関わったりすることで、現場の生の声を聞き取る貴重な機会となり、今年度の活動の基礎となる1年になりました。

支援センターとの連携を深めていきたいです。また、医療と介護だけでは地域での生活は成り立ちません。ゆくゆくは、より広い領域での連携の支援ができるようになればいいと思います。

横山さん

現場で活動しているそれぞれの専門職の方に役立つ情報提供や相談の場となることで地域の在宅医療・介護の連携を強め、在宅療養の受け皿づくりを目指しています。まだまだ試行錯誤しながらの取り組みですが、専門職のみなさんの理解や協力が得られるよう啓発にも力を入れていきたいと思っています。

青木さん

利用者の生活を支えるうえで、医療と介護の連携は欠かすことのできないものです。そして、その多くの場面で、介護支援専門員に期待される役割は大変大きいと感じています。年齢を重ね、介護が必要になっても、自分らしい生活を営んでいただくことができるよう、連携拠点と力を合わせていきたいと思っています。